

2020年10月14日

静岡県自閉症協会

会長 津田明雄

研修会の開催について

最近、発達障害の特性を持つ方が10人に1人程度いるのではないかという見方や、自閉症スペクトラムの特性を持つ方も2.5～5%程度になるのではないかとの見方など、思った以上に特性を持つ方が多いことが知られるようになりました。専門の書籍も多く発行され、強度行動障害研修など研修の機会も増えて、熱心に勉強される方も増えてきました。

なお、一人一人個性があり、特性の現れに方についても一人一人違いがあること、過ごす環境や活動する環境の影響もあることなど、よりよい支援を行うためには、他の事業所における支援の事例や運営方法を含めて、幅広い視点で考える機会が必要になっていると感じています。

当協会は毎年多くの研修会を開催してきましたが、本年度はコロナウイルスの関係もあり、従来と同様の開催ができない状態ですが、感染防止に注意を払いながら、少しでも研修の機会を作りたいと考え、午前中は保護者の方から支援者の方まで幅広い方にご参加いただける研修会を行い、午後についてはグループ討議を基本としながら具体的な事例に学ぶ研修を企画いたしました。午後の部につきましては、対象を研究部の方（会員、賛助会員含む）に限定させていただきます。

記

(日 時) 12月13日(日) 9:30～16:45

午前の部 9:30～12:00

午後の部 12:50～16:45

※ 午後の部は研究会員を対象とします。(会員、賛助会員も参加可能)

(場 所) 静岡県総合福祉会館シズウェル 703号室

(講 師) 中山清司先生(自閉症eサービス代表)

(定員と参加費)

午前の部 定員 60名程度

参加費 1,000円(会員、賛助会員、研究会員は無料)

午後の部 定員 24名程度

参加費 不要(会員、賛助会員、研究会員以外は参加いただけません)

※当日、ご入会いただくことは可能です。(年会費2,000円)

(申込み) 参加を希望される方は、下の申込書に必要事項を記入の上、次へお申込みください。

FAX番号 054-259-2712

※ 問い合わせ先 080-3620-8711

メール <http://www.ei-21.com/asj-shizuoka/formmail/>

※ 当協会ホームページ メールフォーム

(お願い) ○ 感染防止のためマスクの着用をお願いいたします。

○ 当日、コロナウイルスやインフルエンザなどが疑われる方、発熱、風邪のような症状のある方は参加をご遠慮ください。

○ 研究部の方につきましては、原則として午前～午後を通してご参加ください。

○ 午後の部にご参加いただく方は、昼食をご持参ください。

(主催) 静岡県自閉症協会

(後援) 静岡県 (予定)

(ご参考) 研究会員の案内およびお申し込みは次のアドレスをご覧ください。

<http://www.ei-21.com/asj-shizuoka/annai/20160623kenkyuu.pdf>

(内容)

1. 午前の部

○ 定員 60名

※ 200名の会場ですが、コロナウイルスの対策で60名とさせていただきます。

テーマ 自閉症スペクトラムの理解と支援

(1) 地域におけるさまざまな課題と取り組み (9:30~10:10)

静岡県自閉症協会 会長 津田明雄

- ① 早期発見・早期療育が大切と言われるが・・・現実の課題
- ② 児童期の支援 (学校や放課後等デイサービスの課題)
- ③ 成人期の支援 (就労、施設、生活)
- ④ 災害時の課題

(2) 自閉症スペクトラムの特性とアセスメント (10:15~12:00)

中山清司先生 (自閉症eサービス代表)

- ① 自閉症スペクトラムの特性
- ② アセスメントと支援のアイデア
 - 理解できていること、理解できていないこと
 - 得意なこと、苦手なこと
 - 活動の組み立て方
 - 環境の整え方

2. 午後の部 (研究部)

○ 定員 24名程度

※対象: 研究会員 (会員、賛助会員の参加もお受けします)

(テーマ) 理解に基づく支援

ご本人のことを考えて適切な支援をしているつもりですが、うまくいかないことがあります。また、他の利用者の方との関係、職員の体制などいろいろな要因も関係してきます。グループ討議で、他の事業所の方との意見交換を行い、さらに中山先生からアドバイスをいただきながら、よりよい支援について一緒に考えます。

(進め方) グループ討議

- 1グループは6名程度とし、4グループ 24名程度で行います。
- 児童期と成人期を基本に、お申込みいただいた方を1グループ6名程度のグループに分けさせていただきます。
- お申込みいただいた人数により、1グループの人数、グループ数、合計人数は若干調整させていただきます。
 - A 児童期 (幼稚園、保育園、学校、児童発達支援、放課後等デイサービス等)
 - B 成人期 (生活介護、就労継続支援、グループホーム、施設等)

(1) 進め方説明 12:50~12:55

(2) 基礎講義 12:55~13:15

広い視点で考える

(3) 問題整理 13:15~13:50

6名程度のグループに分かれて、参加者から「課題」と「工夫した事例」を紹介

※ 5分以内で、自己紹介と合わせて課題となっていること、工夫したことなどについてお話ししていただきますので、事前にご準備ください。(

(4) 課題についての意見交換 13:50~14:35

グループごとに、それぞれが話された内容について、ご自身の経験の紹介を含めて、意見交換をしていただきます。

(5) グループ発表 14:45~15:15

意見交換したことについて、各グループから簡単に紹介していただきます。

(6) 講義と質疑 15:15~16:45

中山先生より、各グループで意見交換が行われたことを基に講義をしていただき、質問の時間もとらせていただきます。

以上

参加申込書 (FAX 054-259-2712)

12月13日に開催の研修会に申し込みします。

お名前	
居住地域	※お住まいの市町を記載ください ※番地などの詳細は不要です
電話番号	※急な事情で中止せざるを得ない状況 が生じた場合などの連絡用として
会員種別	・会員 ・賛助会員 ・研究会員 ・会員以外 (該当に○)
お立場	・支援者 ・保護者 ※ 保護者の方は、お子様の年代を次から選択ください ・未就学 ・小学生 ・18歳以下 ・19歳以上 (該当に○) ※ 支援者の方は次に所属組織等をお書きください 所属組織： 担当業務：
参加希望	・午前の部 ・午後の部 (※対象は研究会員です) (該当に○) ※ 会員、賛助会員の方もご参加いただくことができます。 ※ 午後の部に参加をご希望の方は、原則として午前の部もご参加ください。
午後の部の 参加希望	・児童期 (該当に○) ・成人期

以上